
鍵穴

タケノコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鍵穴

【Nコード】

N3169I

【作者名】

タケノコ

【あらすじ】

どんな錠でも開けることができる鍵を持つ男。そんな彼に、至る所（人、物）に鍵穴が見え始めた。好奇心に負けた彼は開錠を試みることに……。

わたしは、小さな鍵屋を営んでいる。

いつも、政府からのお目つけ役がわたしを見張っている。

それは、わたしの特殊な体質によるせいだ。

わたしの右手人差し指が金属の鍵（うねうねと形を変えどんな錠でも開かれる）となっている。

それを、政府が危険視したために外ならない。

最近、わたしは至る所に鍵穴が見え始めた。人でも、物でも何にでもだ。

試しに妻の胸部に見える鍵穴に右手の鍵をはめてみた。すると、女房の動きが止まったではないか。私は早速鍵を回してみた。

すると、妻の口から言葉が漏れた

「うちの旦那が稼ぎが良いうちは、一緒にいよう。それにしても不気味な指！」

妻の本音にショックを受けたが気を取り直し。自身の左手の平の錠をあけた。

左手の中には、いくつもの機械部品が詰まっていた。

「わたしは、機械だったのか……」

鏡に映る自分の額に鍵穴が見えるがとても開ける気はしなかった。

{ 5 # 2 6 5 }

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3169i/>

鍵穴

2011年1月5日02時34分発行